

2009年4月24日

各位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

## D I ・ B O X # 0 3 6 8

# 「マスキュラックス静注用 10mg」の取り扱い中止および 「エスラックス静注 50mg/5mL」のオーダ開始について

非脱分極性麻酔用筋弛緩剤「マスキュラックス静注用 10mg」と「エスラックス静注 50mg/5mL」（シェリング プラウ）は、「エスラックス静注 50mg/5mL」採用時に運用方法が決まり次第、一本化することが決まっていました。

今回、「エスラックス静注 50mg/5mL」の運用方法が確定し、「マスキュラックス静注用 10mg」の使用量が非常に少なくなったことから、**平成 21 年 4 月 24 日（金）より、「エスラックス静注 50mg/5mL」のオーダを開始し、「マスキュラックス静注 10mg」をオーダ中止とします。**

「エスラックス静注 50mg/5mL」は、作用発現時間が短く、作用の遷延リスクが少ないと言われており、水溶性製剤であるため溶解の操作が不要という特徴がありますが、マスキュラックスより**投与量が 5～6 倍多く、使用する際は注意が必要**です。また、保存方法は**冷所保存**であるため注意してください。

なお、「マスキュラックス静注用 4mg」は継続採用となります。

薬品名	エスラックス静注 50mg/5mL (新規採用)	マスキュラックス静注用 10mg (オーダ中止)
成分名・規格 保存法	ロクロニウム 50mg/5mL/本 <b>冷所保存</b>	ベクロニウム 10mg/本 室温保存
適応症	麻酔時の筋弛緩、気管挿管時の筋弛緩	
用法・用量	成人：挿管用量として <b>0.6mg/kg</b> を静注し、術中必要に応じて <b>0.1～0.2mg/kg</b> を追加投与。持続注入により投与する場合は、7μg/kg/分の投与速度で持続注入を開始。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、挿管用量の上限は <b>0.9mg/kg</b> まで	成人：初回量 <b>0.08～0.1mg/kg</b> を静注し、術中必要に応じて <b>0.02～0.04mg/kg</b> を追加投与 なお、年齢、症状により適宜増減
オーダ 採用区分	注射 <b>4月24日（金）よりオーダ開始</b>	注射 <b>4月24日（金）にてオーダ中止</b>

\* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。